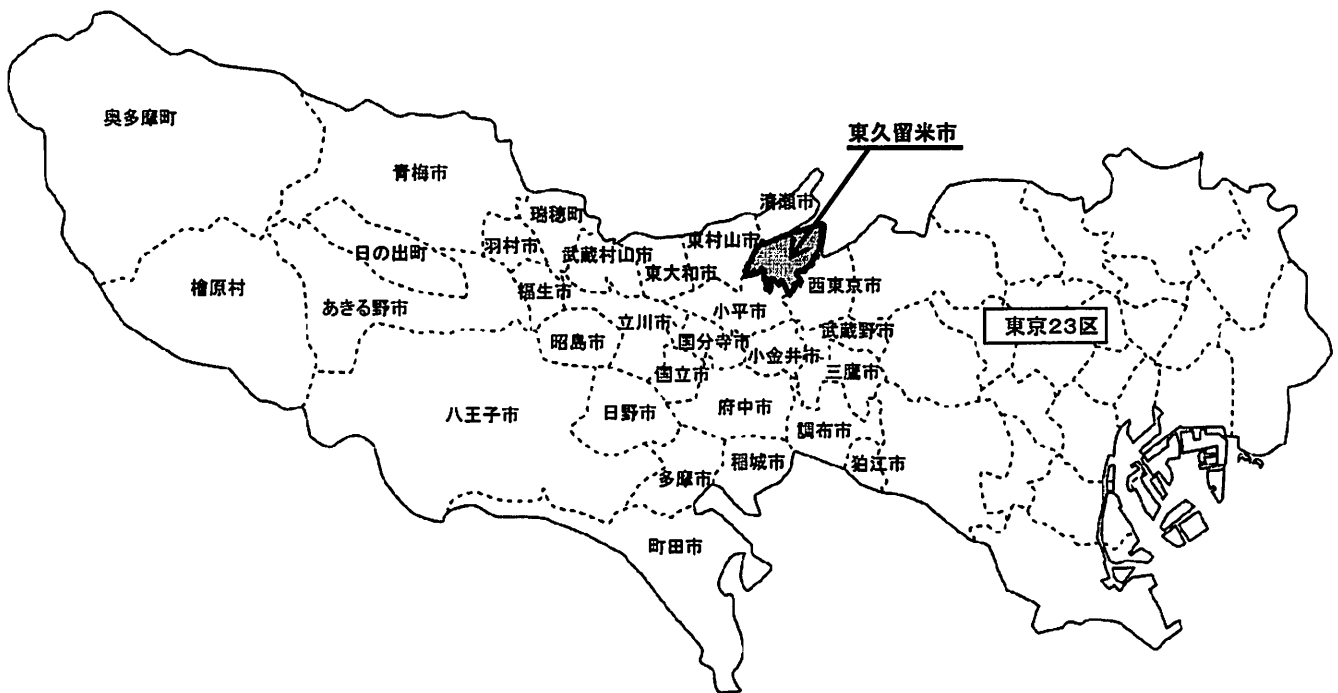


付 録

東久留米市の位置

位置	東経139度31分10秒 北緯 35 度46分1秒
面積	12.92km ² 東西6.5km 南北3.5km



地勢・風土

東久留米市は、武蔵野台地のほぼ中央にあつて、東京都心よりも約 24 kmの西北部にあり、北多摩の東北部に位置している。東は西東京市の一部と埼玉県新座市に接し、西は東村山市、南は小平市、西東京市に接し、北は清瀬市及び埼玉県新座市に接し、東西 6.5 km、南北 3.5 km、面積は 12.92km²である。

標高は 70m から 40mの範囲を西から東になだらかに傾斜した、武蔵野台地の中でも特異な地形を示している。すなわち、中心を流れる黒目川・落合川及びその他の小流は北東に向かって流れ、その間に前沢・南沢・門前(現在の中央町・本町・大門町)を含む紡錘状の台地がある。地域としては武蔵野台地でもローム層の地域で、その厚さ 10m 以上の所が多く、また数条の流れによる浸食や低地によって地下水も複雑であり、市内でも数カ所、柳窪・前沢・南沢・落合(現在の新川町)等に湧泉がある。

=沿革=

廃藩置県当時、現東久留米市の区域は品川県に属していた。

明治 4 年 入間県管轄となる。

明治 5 年 神奈川県管轄となる。

明治 22 年 柳窪、下里、野火止、田無、前沢、小山、南沢、柳窪新田、門前、落合、神山、栗原新田の 12 村が合併して久留米村となる。

明治 26 年 東京府に編入する。

昭和 31 年 町制施行、久留米町となる。

昭和 45 年 市制施行、東久留米市となる。